

アウトプット（施策）（A）

番号	項目	現状値	目標値
住民に対する救急蘇生法、予防救急等の普及啓発の実施			
1	住民の救急蘇生法講習の受講者数（人口1万対）	43.2 人	増加
適切な病院前救護の実施			
2	常時救急救命士を運用している救急隊の割合	90.7 %	93.2 %

番号	項目	現状値	目標値
初期救急医療体制の整備			
3	一般診療所の初期救急医療への参画率	14.4 %	増加

番号	項目	現状値	目標値
二次救急医療体制の整備			
4	二次救急医療機関の応需率	88.8 %	増加

番号	項目	現状値	目標値
三次救急医療体制の整備			
5	救急担当専任医師数（1センター当たり）	14.0 人	維持
6	救急担当専任看護師数（1センター当たり）	56.0 人	維持

初期アウトカム（B）

番号	項目	現状値	目標値
病院前救護の適切な実施と速やかな搬送			
1	心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数	0.7 %	1.3 %
2	救急要請（覚知）から救急医療機関へ収容するまでに要した平均時間	40.9 分	減少
3	救急出動件数に占める軽症者の割合	39.7 %	減少

番号	項目	現状値	目標値
診療の空白時間なく、地域で受けられる初期救急医療			
4	休日・夜間において初期救急医療機関を受診した傷病者の割合	19.9 %	増加

番号	項目	現状値	目標値
入院治療を要する重症患者に対する適切な医療			
5	重症以上傷病者において、医療機関に4回以上受入の照会を行った割合（受入困難事例）	1.0 %	減少

番号	項目	現状値	目標値
重篤な救急患者に対する適切な医療			
6	救命救急センターの応需率	94.5 %	増加

分野アウトカム（C）

番号	項目	現状値	目標値
救急患者の生存率の向上			
1	一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1か月後生存率	9.0 %	12.7 %